

府内企業による蓄電池、水素・燃料電池等 先端技術の研究開発等を支援します

～大阪・関西万博を見据え、研究開発にチャレンジしませんか！～

2025年大阪・関西万博は、「未来社会の実験場」をコンセプトに掲げ、SDGs達成への貢献をめざし開催されるものであり、再生可能エネルギーや水素の活用などによるCO2排出ゼロに向けた取組が期待されています。万博は、最先端の蓄電池や水素・燃料電池等の実証実験や社会実装を進めるとともに、国内外に技術力を発信する絶好の機会と言えます。

大阪府では、電池関連産業のビジネス創出・拡大を促進するため、府内企業によるリチウムイオン電池や燃料電池の部材の開発、蓄電池、水素燃料電池モビリティの開発などに対して、必要な経費の一部を助成しています。

このたび、令和3年度の補助事業を以下のとおり募集しますので、意欲のある企業の皆様からの応募をお待ちしています。

※ 本事業は「令和3年2月定例府議会大阪府一般会計予算」が議決され、本事業に係る予算が成立した場合にのみ事業化される停止条件付きの公募です。事業に係る予算が成立しない場合は、申請を公募したに留まり、いかなる効力も発生しません。

※ 補助金の対象となる事業のうち、今回募集するのは「府内企業による研究開発等」に関する事業となります。

「第四次産業革命に関係する先端技術等の実証実験」に関する事業の募集については別途ご案内します。

補助の概要

<公募対象者>

- 府内企業（大阪府内に主たる事業所などを有する事業者）
- 大阪府内において創業を予定されている方

<補助対象事業>

- 電池（蓄電池、水素・燃料電池等）や電池の材料・部材等、あるいは電池を活用した製品等の研究開発、試作開発
 - ・電池の開発
 - ・電池の材料・部材の開発
 - ・電池制御・評価試験装置などの開発
 - ・電池を活用した新たな製品の開発
 - 電池を活用した製品等の研究開発、試作開発の一環で実施する実証実験（科学的データの取得・解析を行うもの）
 - その他上記に準ずるもので当補助金の事業目的に沿うもの
- ※実用化や事業化に欠かせないデータ収集・試験分析・評価を含む。

■ 事業化の成功例 ■

<補助金額>

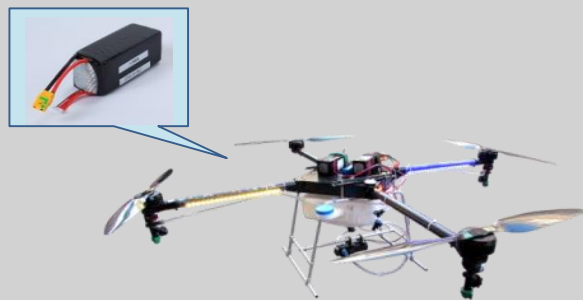
- 上限 750万円

<補助率>

- 中小企業者 補助対象経費の2分の1以内
- それ以外の企業 補助対象経費の3分の1以内

■ 対象事例 ■

- ・リチウムイオン電池、燃料電池等の部材の開発
- ・蓄電池、水素・燃料電池モビリティの開発
- ・使用済リチウムイオン電池のリユース関連技術（蓄電池診断装置等）の開発
- ・充放電装置、製造用装置、バッテリーマネージメントシステムの開発
- ・蓄電池、燃料電池を活用したロボット、ドローン、モビリティの開発及び実証実験



農業用マルチコプターの高出力バッテリーの開発

補助事業実施期間

交付決定日から令和4年3月31日（木曜日）まで

対象経費

補助事業区分	経費区分	細目	補助対象経費の内容
府内企業による研究開発等	研究開発費	開発事業費	原材料費、消耗品費、機械装置 又は器具などの購入・試作・改良・据付け・借用・保守 又は修繕に要する経費、外注加工費
		開発委託費 (研究開発費の2分の1以内)	共同研究費、研究開発の一部を委託する経費
		開発事務費 (上記の開発に係るもの)	企業・共同研究機関・外部有識者等への謝金・ 旅費、資料購入費、印刷製本費、通信運搬費、 会議費、その他経費
	試験分析費		データ収集、試験分析、評価等に係る経費
	実証実験費		実証実験に係る費用

審査方法

- 専門家により構成された審査会を令和3年5月中旬（予定）に開催し、事業計画などに関する審査を行った後、補助対象事業を採択します。

応募方法

- (1) 公募要領 下記のホームページからダウンロードしてください。
- (2) 募集期間 令和3年3月22日（月）から **令和3年4月23日（金）必着**
- (3) 応募受付 応募書類を下記の提出先まで郵送ください。※持参・メールは不可
(受付は土曜日・日曜日・祝日を除く、午前9時から午後6時まで)

〔問合せ先・提出先〕

大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課 新エネルギー産業グループ
住 所：大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）25階
電話番号：06-6210-9295
E-mail：shinenesangyo@sbox.pref.osaka.lg.jp

〔公募要領・応募書類など〕

ホームページ：<http://www.pref.osaka.lg.jp/energy/denchihozyo-saitaku/index.html>